

令和3年9月14日

学生各位
教職員各位

学長 池田 幸

令和3年度後期授業等に関するお知らせ（通知）

令和3年度後期授業の開始にあたり、現在の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、既にお知らせいたしました在宅受講の取扱いの内容の変更や前期に実施したアンケート結果の対応等について下記のとおりお知らせします。

今後も学生の学修機会の確保と新型コロナウイルス感染症への対策の徹底の両立に配慮した計画を策定し授業等を実施していきますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

なお、今後の感染状況等を踏まえ、本通知内容を変更する場合もあることをご了承ください。

記

●前期成績について

個別成績表については、例年、9月下旬に指導教員の指導の下に配付しているところですが、今年度はコロナ禍の状況で本学の対応方針もステージ3と制限も厳しいものとなっています。こうした状況下においては、例年どおり9月下旬に個別成績表を対面で渡して指導することは適切ではないと判断し、次のとおり取り扱うこととしましたのでご留意ください。

- ・『学生』は、教務ポータル>成績>単位修得状況照会から確認することが出来ます。ただし、GPTやGPAは表示されませんので、指導教員からオンライン等で指導を受ける際に確認し、後期の履修授業科目の登録を行ってください。
- ・『指導教員』に対して、9月下旬までに個別成績表を配付します。指導学生へオンライン等で指導する際にGPT・GPAを伝えるとともに、令和3年度後期履修登録単位の上限の特例該当者を当該学生へ伝えてください。
- ・個別成績表を対面で渡して行う指導は、10月以降に学生が対面で行う授業を受講するために登学する日に行ってください。対面指導を行うためだけに学生を登学させることがないようにしてください。

●後期授業について

7月にお知らせした「令和3年度後期における授業の実施方針」において、前期に引き続き、対面授業とオンライン授業を併用して授業を実施するとしておりましたが、全国的な新型コロナウイルス感染拡大状況及び本学で実施しております新型コロナウイルス感染症ワクチンの職域接種の2回目の実施日が後期授業の開始時期と重なることを踏まえ、以下のように変更します。

・10月1日（金）以降の授業は、

【講義科目】全てオンライン授業

【演習・実験・実習等】各教育プログラムで計画された授業

・11月1日（月）以降の授業は、

【講義科目】A日程・B日程

【演習・実験・実習等】各教育プログラムで計画された授業

『授業計画は、ホームページ及び教務ポータルでお知らせします。』

なお、10月中の新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種（本学で行っている職域接種以外の接種も該当します）の対応は次のとおりとします。

①授業の受講日とワクチン接種日時が重複した場合は、予め授業担当教員へ申し出て、当該授業に相当する学修の指示を受けてください。

②ワクチン接種後に体調不良により授業を欠席する場合は、授業担当教員へ申し出て、当該授業に相当する学修の指示を受けてください。

①及び②の対応について、「欠席届」の提出は不要とします。

本取扱いによる授業欠席は、当該学生から当該授業担当教員へ個別に申し出により、対応することになりますのでご注意ください。

※本通知の実施により、6月23日、7月15日付けで通知したワクチン接種における「定期試験の取り扱い」、「体調不良による授業欠席の取り扱い」は廃止となります。

●在宅受講に関すること。

令和3年7月に「令和3年度後期における授業の実施方針について」及び令和3年7月15日付けで「令和3年度後期の在宅受講の取扱いについて」を通知し、**在宅受講は“緊急事態宣言”又は“まん延防止等重点措置”が発令されている区域に居住し、当該区域から登学する者に限ると**お知らせをしたところですが、その後、全国各地に緊急事態宣言が発令され、栃木県も8月20日から9月30日まで緊急事態宣言の実施区域とされることになりました。

現時点において本学で定めた在宅受講の取扱いを適用させると本学の学生のほぼ全員が在宅受講の対象となることから、**今後、栃木県又は宇都宮市に“緊急事態宣言”（県独自又は市独自の“緊急事態宣言”を含む）が発令されている場合は本取扱いの適用をせず、当該期間は本学ステージ表に係わらず全ての授業を原則としてオンラインで実施することとします。**

●「2021 前期コロナ禍における学生の皆様へのアンケート」の結果を踏まえた学修環境の改善。

(意見1)

- ・対面授業とオンライン授業が交互に実施されている場合、オンライン授業が Zoom 等によりオンタイムで実施されると受講環境を確保することが難しいとの意見がありました。
- オンライン授業は、原則としてオンデマンドでの受講が可能となるよう教職員へ通知していましたが、この全学的な方針に従わずにオンライン授業をオンタイム (Zoom 等) のみで開講してしまったことが原因と考えられます。オンライン授業をオンタイムで開講する場合でも、必ず当該科目をオンデマンドでも受講可能とし、かつオンデマンドで受講した学生が成績評価の面で不利益を被らないようにするよう授業担当教員へ改めて周知します。
- また、対面授業の直前又は直後にオンライン授業を受講する場合の受講環境の確保が難しいとの意見がありました。学内の Wi-Fi 環境の整備を進めた結果、9 月末までに峰・陽東の一部の教室等に Wi-Fi 環境が整備されることとなりました。
これにより、意見のあったオンライン授業の受講環境が整い、各受講生がノートパソコン等を持参することで、対面授業を実施していない空き教室でオンライン授業の受講が可能となります。
ただし、コロナ禍の現在において、オンライン授業のみを受講するために来学し、空き教室でオンライン授業を受講することは、キャンパス内の密を避ける観点から認められません。なお、学内の Wi-Fi 環境を利用して空き教室でオンライン授業の受講を希望する学生は、予め申請し、許可を受けての利用となります。申請方法が決まり次第、改めてお知らせします。
(※Wi-Fi が整備される教室等は改めて周知します)

(意見2)

- ・オンライン授業での資料公開期間が短いとの意見がありました。
- 各授業の教授方法の違いにより全ての授業で一律な対応とはいきません。
授業によっては、オンライン授業では受講生に学修ペースを指示することが難しく、学修ペースをつかんでいただくために、公開期間を定め、当該回の学修を後回しせずしっかりと学びを促すことを目的として実施しています。
ただし、学修効果をより向上させるために必要な教材については、C-Learning 等のコンテンツを利用して、当該授業期間中資料公開を続けるよう各授業担当教員に周知していきます。

(意見3)

- ・課題の量が多いこと及びフィードバックがされないとの意見がありました。
- 課題の量については、履修授業科目の数、専門分野の違い、各授業の教授方法の違いなどにより様々ですが、本来、授業は 1 単位 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することが標準とされており、単位を取得する上で授業時間外の学修時間も相当に確保される必要があるといえます。
ただし、本アンケート結果として、80%を超える学生から「多かった」又は「どちらかといえば多かった」との回答があったことから、学生の皆さんの総意として受け止め、認識を共有していきたいと考えています。
- また、課題のフィードバックがされていないことは大きな問題であり、各授業担当教員に対して、フィードバックを必ず行うよう改めて周知していきます。

※アンケートの集計結果等は改めて教務ポータル掲示板でお知らせします。